

Society5.0 実現に向けて

企業や業界、国境を越えたデータ連携による 新たな価値創出の可能性

～各国の動向を踏まえ、国内でのデータ連携推進に向けた課題と国内企業の競争軸の変遷を予測～

— 講師 —

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

デジタルコンサルティング部 技術・技術戦略チーム

政策調査課 上席主任コンサルタント 西脇 雅裕 氏

日 時 2024年6月26日(水) 午後1時～3時

受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

米国のGAFAM、中国のBAT等、大手プラットフォームはデータを梃としたビジネスを通じ、大きな躍進をしてきた。他方、欧州では、企業や業界を超えたデータスペースという概念を構想し、Gaia-XやCatena-X等の取組を通じ、産業データや個人データの連携による新たな価値創出を図り、欧州としての勝ち筋を模索している。この動きに対し、日本もOuranos Ecosystemのコンセプトを立ち上げたところである。

本セミナーでは、データ連携を取り巻くトレンドや、実際のデータ連携のユースケースを紹介しながら、将来の我が国におけるデータ連携の障壁、推進に必要な要素、データ連携を通じた我が国企業の今後の競争軸について考察する。

1. データ連携を取り巻くトレンド

- (1) ビジネスにおけるデータ活用の必然性
- (2) ビジネスキーワードの多様化・公共化
- (3) 外部とのデータ連携の必要性
(社会トレンド、産業振興、各国・地域の思惑等)
- (4) 自由なデータ流通とデータの鎖国化の国際的な潮流
(DFFT、Trusted Web、データ保護、越境移転規制等)

2. データ連携の各国動向俯瞰

- (1) 分野別のデータ連携の動向
- (2) 国内外における分野別ユースケース紹介
- (3) ビジネスモデル分析

3. データ連携の今後の市場性の考察

- (1) 日本におけるデータ連携の障壁
- (2) 今後のデータ連携を推進するキードライバー
- (3) データ連携を梃とした今後の競争軸の変遷

4. 質疑応答/名刺交換

PROFILE 西脇 雅裕(にしわき まさひろ)氏

みずほ情報総研株式会社(現:みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社)入社後、デジタル社会基盤(データ活用・連携、5G等の通信、スマートシティ)、X-tech(海洋DX、建設DX、農林水産業DX)、モビリティ・ロボティクス(水中ドローン、自動運転、MaaS、人間拡張)領域に関する調査研究・コンサルティングに従事。ICTインフラやITサービスの国際展開に向けた技術・市場動向調査、政策立案支援などにも携わる。

